

三次地区の診療所の先生をご紹介します。

No.36

三次神経内科クリニック花の里

特徴

当院は、神経難病や頭痛、認知症など神経疾患を専門に診させていただいております。

認知症に関しては認知症疾患医療センターに指定されております。お気軽にご相談ください。

医療センターへひと言

いつも急な入院・受診などにも関わらず、丁寧に調整をいただき、大変お世話になっております。

今後ともよろしく申し上げます。



待合室



伊藤先生とスタッフの皆さま

取材後記

取材当日、玄関には立派な門松が飾られており、院内はとても清潔で明るくショーケースには珍しい小物も飾られていました。ご担当者様に案内していただき先生はじめ多くのスタッフの皆さんに撮影のご協力をしていただきとてもよいお写真が撮れました。ご協力誠にありがとうございました。



診療受付時間

月～金/ 9:00～12:00
14:00～17:00

※金・土は午前のみ(土曜日は不定期)

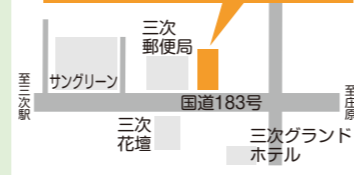
休診日

日曜日・祝日・金・土曜日午後

診療科目

一般内科、脳神経内科
リハビリテーション科、放射線科

三次神経内科クリニック 花の里



三次市十日市東4丁目3-10
Tel:0824-63-0330

面会制限 緩和の お知らせ

面会可能日時:毎週月～土曜日(祝祭日を除く)/13:00～17:30

面会対象者:キーパーソンが許可した中学生以上の方(キーパーソン+1名 計2名)

※キーパーソンの方に面会許可証を2枚配布。忘れた場合は病院で臨時の許可証は発行いたしません。

※上記面会可能な曜日の中で、1患者様につき週2回まで面会可能。

※ロビーでの着替え等の荷物の受け渡しは上記時間内での面会が困難な場合のみとさせていただきます。

※詳しくはホームページをご覧ください。

【感染対策】下記に該当する方は感染対策のため、面会をご遠慮いただきます。

①37.0℃以上の発熱、呼吸器症状、強い倦怠感のある方/②10日以内に新型コロナに感染、もしくは陽性者と濃厚接触された方/③同居者や最近会った人で①・②に当てはまることのある方

三次地区医療センター

〒728-0013

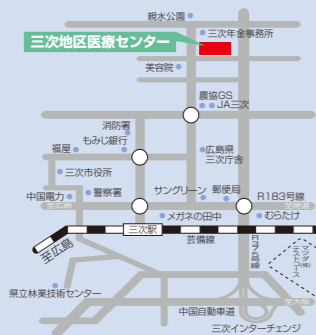
広島県三次市十日市東三丁目16番1号

TEL.0824-62-1103

FAX.0824-62-7341

E-mail:info@miyoshi.hiroshima.med.or.jp

ホームページ:http://www.miyoshi.hiroshima.med.or.jp/



理念

全人的医療を目指します。

地域密着型の医師会立病院としてかかりつけ医と連携し、患者様に満足の頂ける医療・ケアを行います。

新年あけまして
おめでとうございます



新年の挨拶

新年あけましておめでとうございます。

また、新年早々起きた能登半島地震では多くの方々が被災され、心よりお悔やみ申し上げます。



さて、昨年5月に新型コロナウイルスが第5類に引き下げられ、感染拡大に配慮しつつもこれまでの日常が戻って来ました。そして医療・介護分野においても本来の連携が取れるようになり、コロナ禍で進んだウェブ会議も利用しつつも顔の見える連携を推進していきたいと思っております。

一方、高齢化の波はますます顕著で、2025年に団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、実に国民の4人に1人が後期高齢者で、その人口は2200万人を超えると予想されています。そして社会を支える生産年齢人口は減少し、これは医療・介護に携わる私たちにとっても直面する大きな課題となっております。これは三次のみならず、全国的な喫緊に解決すべき課題ですが、解決の糸口は見えておりません。

対策として、これまで培ってきた様々な連携を進化させることが挙げられます。先日、広島県医師会新年互例会が開催され、県医師会会長から「オール広島、官学民が連携」といったキーワードが語られました。三次地区医療センターも医師会病院として、連携を通じて地域医療に引き続き貢献していく所存ですので、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

病院長 安信祐治

備北地区地域フォーミュラリについて

「地域フォーミュラリ」とは、地域で医療を必要とする患者様が高い治療効果と安全性・費用対効果を得られることを目的に、策定・運用される処方推奨薬リストのことです。もちろん、処方薬を全て地域フォーミュラリに当てはめる訳ではなく、「薬剤選択の際の目安となるもの」と言えます。一般に、地域の医師(会)、歯科医師(会)、薬剤師(会)、中核病院などが中心となり協議・策定し、管理・運営も行っていますが、地域フォーミュラリを導入し運用することで、患者様・医療機関・地域社会にとって様々なメリットが期待できます。

広島県内における地域フォーミュラリの普及啓発のため、当センターも参加している地域医療連携推進法人 備北メディカルネットワークにおいて地域フォーミュラリの作成、導入効果や作成に伴ったプロセスの検証などを実施しております。



地域の医療の質向上・標準化を図り、長期的な地域医療提供体制維持に貢献したいと考えています。

当センターホームページへ詳しい内容を掲載しております。

[詳しくはこちら→](#)



臨床薬剤科 科長 朝尾 直美

令和5年度 心臓いきいき市民公開講座

さる12月23日、みよしまちづくりセンターにて心臓いきいき市民公開講座を開催しました。前日まで10年に一度の最強寒波に見舞われ開催が危ぶまれておりましたが、幸い当日は天候に恵まれ、多数の方々にご来場頂きました。

今回のキーワードは『にしき』。認知症・心不全・筋肉(=フレイル)の頭文字で、心不全とそれに関連する周辺課題をまとめて考えるために作り出した言葉です。



講座では『にしき』の対策のため、くう(適切な食事)・でる(社会参加)・うごく(適度な運動)を生活の中でどのように実践していくかというテーマで情報発信を行いました。

第1部は当院循環器内科医師による講演で、心不全やフレイルの特徴と、「くうでるうごく」の考え方や実践に向けたアドバイスを頂きました。

第2部のパネルディスカッションでは三次市役所・社会福祉協議会よりパネラーをお招きし、運動施設や元気サロンなど、「くうでるうごく」をお住まいの地域で実践するにあたり、活用できる設備や地域の集まりについてそれぞれの立場で情報提供をして頂きました。今回の講座をきっかけに、身近なサロンや運動施設などで「くうでるうごく」の実践が広がっていけばと期待しています。



心臓いきいきチーム 前田 圭祐



野菜は元気のたまてばこ

1月7日の朝、新しい1年の無病息災を祈って食べる「七草粥」
七草は「日本のハーブ」といわれるほど様々な効果を持っているため、お正月料理や新年会で疲れ気味の胃腸の調子を整えるためにもおすすめです。

芹(せり)

「新芽がたくさん競り合って育つ」という様子から、勝負に「競り」勝つという意味合いが込められています。
胃を丈夫にする効果や解熱効果、利尿作用、整腸作用、食欲増進、血圧降下作用などの効果があるといわれています。



薺(なずな)

現代でいう「ぺんぺん草」のことです。薺には「撫でることので汚れを取り除く」という意味合いが込められています。
解毒作用や利尿作用、止血作用、胃腸障害やむくみに効果があるといわれています。



御形(ごぎょう)

現代でいう「母子草(ははこぐさ)」のことです。これには、仏の体という意味合いが込められています。
のどの痛みに対して効果があるといわれています。



繁縷(はこべら)

「はこべ」とも呼ばれています。これには、「繁栄がはびこる」という意味合いが込められています。
また、昔から痛み止めとして使用されており、胃炎や歯槽膿漏に効果があるといわれています。



仏の座(ほとけのざ)

正式名は「小鬼田平子(こおにたびらこ)」といい、これが仏の安座という意味合いが込められています。葉が地を這うように伸び、中心から伸びた茎に黄色い花を付けます。胃の健康を促し、歯痛や食欲増進などの効果があるといわれています。



菘(すずな)

現代でいう蕪(かぶ)のことです。これには、神を呼ぶ鈴という意味合いが込められています。
胃腸を整え消化を促進し、しもやけ、そばかすにも効果があるといわれています。



蘿蔔(すずしろ)

現代でいう大根のことです。これには、「汚れのない清白」という意味合いが込められており、美容や風邪予防に効果があるといわれています。



かぶと大根は、根と葉のそれぞれに栄養素が含まれているので、両方とも粥に入れることをおすすめします。